

令和 7 年11月八幡平市定例記者会見

日 時：令和 7 年 11 月 4 日(火) 午前 11 時～
場 所：八幡平市役所 多目的ルーム 1

1 開会

2 市長挨拶・発表項目の説明

(1) 八幡平市子ども議会を開催します

－ 市内小学校児童が自分なりの考え・意見を発表します －

(2) 「スパルタキャンプ・ライト in 平舘高校」を初開催

－ 高校魅力化の一環として高校と地域が連携しプログラミング教育に挑戦 －

(3) 統合小学校の校名を募集します

－ 松野小・寄木小・柏台小の 3 校統合に向け準備に着手 －

(4) 今年で 11 年目のスパルタキャンプ in 八幡平が 11 月 1 日に開幕

－ 短期集中型のプログラミング学習イベントを開催 －

(5) 八幡平市メディテックバレーシンポジウムを開催します

－ 5 年間の取り組みを振り返り、今後の展望や課題を共有します －

(6) 八幡平市議会報告会「議員と語る会」を開催します

再リリース

(7) 副業型地域活性化企業人との協定式を行います

－ 行政 DX 化を推進する新たな試み －

3 質疑応答

4 その他

5 閉会

※ 次回の定例記者会見

日時：令和 7 年 12 月 3 日(水) 11 時00 分から

場所：八幡平市役所 3 F 大会議室

プレスリリース

市制施行 20 周年記念

八幡平市子ども議会を開催します

市内小学校児童が自分なりの考え・意見を発表します

【発表の要旨】

本市の未来を担う小学生児童が、市政や社会問題などについて、議会で意見や提案をすることにより、社会参画への意欲を培うことなどを目的に「子ども議会」を開催します。

当日は、議会制民主主義を体験的に理解するとともに、市民の一人として、八幡平市の将来について考える児童の姿が見られます。

- 1 開催日時 11月15日（土）午前10時～
- 2 場所 八幡平市役所 3F 八幡平市議会議場
- 3 議員 20名（市内10小学校から各2名）
- 4 説明員 市長、副市長、教育長および部課長

5 その他

- ・傍聴を希望される方は、会議当日に、八幡平市市議会議事堂（市役所3階）入口の受け付けにお越しください。
- ・傍聴席には限りがあり、先着順となります。傍聴室に入れない方は、1階、3階ロビーおよび結のひろばでのモニター視聴となります。
- ・傍聴している間は、携帯電話をマナーモードにしてください。

【担当】

八幡平市教育委員会 教育指導課
教育指導課長 田代 英樹
電話 0195-74-2111（内線1430）

プレスリリース

「スパルタキャンプ・ライト in 平館高校」を初開催

高校魅力化の一環として高校と地域が連携しプログラミング教育に挑戦

【発表の要旨】

市内唯一の高校である岩手県立平館高等学校は、市教育委員会と連携し、学校魅力化事業の一環として、地域連携による実践型プログラミング授業「スパルタキャンプ・ライト in 平館高校」を初めて開催します。

今回のキャンプでは、プログラミング言語 Python^{バイソン}を用いて、生徒がデジタル技術や論理的思考力を体験的に学びます。

八幡平市が進めている人材育成プログラム「スパルタキャンプ」から教育要素を取り入れ、高校教育と地域人材育成をつなぐ試みとして取り組みます。

1 開催概要

名称：スパルタキャンプ・ライト in 平館高校

会場：岩手県立平館高等学校（校長：千葉賢）

講師：スパルタキャンプ修了生 吉田 力 氏（スパルタキャンプ第14・17期生）

アシスタント：スパルタキャンプ受講を契機に、本年度から地域おこし協力隊に着任した協力隊員

少し説明

講師の吉田氏は、平成30年に当市で行われたスパルタキャンプを受講したのがきっかけで、ハワイから当市に移住。地域おこし協力隊を経て、子ども向けプログラミング教室「アクセルキャンプ」を起業しています。また、市内小学校のICT支援員として活動しており、デジタル技術を活用した地域外出身者が高校教育に関わる「学びの循環モデル」としても注目されます。

2 開催スケジュール（全5回）

開催日	時間
11月17日(月)	10:00～10:50 / 11:00～11:50
11月26日(水)	9:00～9:50 / 10:00～10:50
12月1日(月)	10:00～10:50 / 11:00～11:50
12月8日(月)	10:00～10:50 / 11:00～11:50
12月15日(月)	10:00～10:50 / 11:00～11:50

- ① 3年生を対象に、授業時間内で行います。
- ② 初回(11月17日)のみメディア取材・撮影が可能です。取材を希望する場合は、同校(0195-74-2610)までご連絡ください。

3 事業の背景と狙い

平館高校では、地域と連携しながら「挑戦する学び」を広げる高校魅力化事業を展開しています。今回のプログラムはその一環で、市と協働し「地域で学び、地域で支える」教育モデルとして実施します。市も、若者が地域の産業やデジタル分野に関心を持つきっかけとなることを期待しており、今後も継続的な展開を検討しています。

【担当】

八幡平市教育委員会

教育次長 工藤 輝樹

電話 0195-74-2111（内線 1435）

プレスリリース

松尾地区の住民・保護者などを応募の対象者に

統合小学校の校名を募集します

松野小・寄木小・柏台小の3校統合に向け準備に着手

【発表の要旨】

松野小・寄木小・柏台小の統合校として、現在の松野小の校舎を活用し、令和9(2027)年4月の新設開校を予定する松尾地区3小学校統合校の校名を募集します。

応募のあった校名は、学校統合検討委員会や市教育委員会などで検討・審議したうえで、最終的に市議会の議決により決定します。

1 募集する校名案の要件

- ・松尾地区3小学校の伝統や歴史を尊重していること
- ・児童、保護者、地域住民に親しみやすく受け入れられやすいこと
- ・校名から地理的イメージが湧きやすいこと
- ・漢字、ひらがなで表記され、読み書きが容易であること
- ・校名の理由が明確であり、説得力があること

2 募集期間 11月6日(木)から11月25日(火)まで(20日間)

3 応募対象者

- ・松尾地区3小学校の児童・保護者
- ・松尾地区の住民
- ・松尾地区3小学校に勤務する教職員

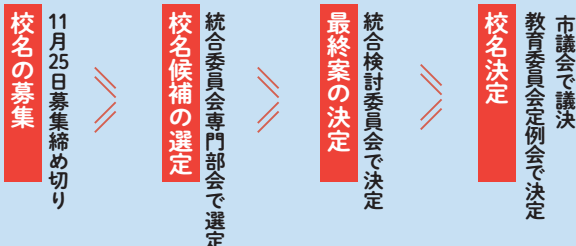
4 応募用紙など

- ・応募用紙：松尾地区3小学校または市教育委員会で配布しています。
- ・応募方法：松尾地区3小学校または市教育委員会備え付けの、所定の応募封筒に入れてください。
- ・応募は1人1案で、記名のないものは無効です。



詳しくはこちら

校名決定までのスケジュール



【担当】

八幡平市教育委員会 教育総務課
課長補佐 羽澤 りち子
電話 0195-74-2111(内線 1361)

プレスリリース

11年目のスパルタキャンプin 八幡平が11月1日に開幕

短期集中型のプログラミング学習イベントを開催

【発表の要旨】

地域の未来を担う起業家を育成する起業志民プロジェクトの看板プログラム「スパルタキャンプ in 八幡平」が11月1日に開幕しました。

平成27(2015)年度から始まり、今年で11年目を迎えた参加費無料のスパルタキャンプは、3つのプログラミング言語学習ごとに3期に分けて講習が展開します。講習終了ごとに、成果発表会を下記の日程で行いますので、参加者が成長する様子を是非取材をお願いいたします。

- 1 実施主体** 八幡平市メディテックバレーコンソーシアム
(会長：佐々木孝弘)
- 2 会場** 八幡平市起業家支援センター
- 3 講義開催日時** 講義はそれぞれ 8:30 ~ 18:30 (休憩あり)
※各講義の2週目から、毎週金曜日は先輩起業家の講話や起業に向けたビジネスプランの組み立てに関する講義を行います
(10:00 ~ 17:00 を予定、※印で表記)。

詳しくは
スパルタキャンプ
ウェブサイトへ



4 成果発表会

各シリーズ最終日の13:00から、市役所ホール棟大ホールにて、キャンプ内で学んだことを元に独自のビジネスプランとオリジナルのウェブサービスやアプリ等の発表会を行います。

なお、市長は講評官として出席予定です。

- 1) Swift 編** R 7年 11月 23日(日) 13:00 ~
- 2) Labeled 編** R 7年 12月 21日(日) 13:00 ~
- 3) Python 編** R 8年 2月 1日(日) 13:00 ~

【担当】

商工観光課 企業立地推進係

課長補佐 中軽米真人

電話 0195-74-2111 (内線 1320)

1) Swift (スウィフト)

Apple が開発した iPhone や Mac 用のアプリを作るためのプログラミング言語です。直感的で初心者にも扱いやすく、高性能なアプリを効率よく作れるのが特徴です。

開校式 : 11月1日(土) 8:30 ~ (済)

講義

11/1(土)、2(日)、(済)

※ 7(金)、8(土)、9(日)、

※ 14(金)、15(土)、16(日)、

※ 21(金)、22(土)、23(日)

2) Labeled (ララベル)

PHP というプログラミング言語を使って Web サイトや Web アプリを効率的に作るためのフレームワークです。初心者でも使いやすく、セキュリティ対策や機能追加が簡単にできることが特徴です。

開校式 : 11月29日(土) 8:30 ~

講義

11/29(土)、30(日)、

※ 12/5(金)、6(土)、7(日)、

※ 12(金)、13(土)、14(日)、

※ 19(金)、20(土)、21(日)

3) Python (パイソン)

アプリや Web サイトの開発、さらには人工知能 (AI) の分野でも使われる非常に人気の高いプログラミング言語です。コードが読みやすく、初心者でも学びやすいのが特徴です。

開校式 : R8年 1月 10日(土) 8:30 ~

講義

1/10(土)、11(日)、

※ 16(金)、17(土)、18(日)、

※ 23(金)オンライン、24(土)、25(日)、

※ 30(金)、31(土)、2/1(日)

プレスリリース

八幡平市メディテックバレーシンポジウムを開催します

5年間の取り組みを振り返り、今後の展望や課題を共有します

【発表の要旨】

「PHRと地域医療DXの5年間の歩みとこれから」をテーマに、八幡平市メディテックバレーシンポジウムを開催いたします。

市は平成27(2015)年度から行ってきた起業家育成事業発祥の技術を活用して、令和3年度に、過疎地域の見守りと医療のデジタルトランスフォーメーションを推進するために産学官連携組織「八幡平市メディテックバレーコンソーシアム」を設立しました。このコンソーシアムを母体とした取り組みは、内閣府の地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)の新規認定を得た、全国5事例の一つで、活動から5年を迎えた今年度は、認定の最終年となります。

シンポジウムでは、これまで取り組んできたオンライン診療、見守りサービス、ドローン物流やDXを通じた地域課題の解決について、それぞれの立場から振り返りと今後の展開などを紹介します。

1 主催 八幡平市メディテックバレーコンソーシアム(会長：佐々木孝弘)

2 開催日時 11月25日(火) 13:30～

3 会場 八幡平市西根地区市民センター

4 内容

- 1) 開会挨拶：佐々木孝弘(八幡平市長)
- 2) 講演①：「オンライン診療の今後の可能性—5年間の歩みを振り返って」
望月 泉(八幡平市立病院統括院長)
- 3) 講演②：「ウェアラブルデバイスを活用した訪問介護の展開」
天谷 尚子(和洋女子大学看護学部助教)
- 4) 講演③：「医薬品ドローン配送のこれまでの歩み」
石川 啓(いわてドローンコンソーシアム代表理事)
- 5) 講演④：「スパルタキャンプのこれまでとこれから」
高橋 一真(株)NEXT REVOLUTION 代表取締役)
- 6) 講演⑤：「”課題”こそ地域における最高の資源～過疎地から始まるDX革命～
中軽米 真人(八幡平市役所商工観光課課長補佐)

5 参加費 無料(要 公式サイトから事前申し込み)
公式サイト <https://8mv.biz/r7-symposium/>

6 対象 どなたでもご参加いただけます

【担当】

産業建設部商工観光課 企業立地推進係
課長補佐 中軽米真人
電話 0195-74-2111(内線 1320)



詳しくはこちら
シンポジウムサイト

PHRとは

Personal Health Record
(パーソナルヘルスレコード)の略。

病院や薬局ごとに保存・保管している個人の医療データであるPHRを、適切な本人の同意やセキュリティの確保を前提に、具体的なサービスモデルや情報連携技術モデルを構築していこうと、厚生労働省では、国民や関係機関等が安全で適切なサービスを選択・活用するためのルール作りや運用・メンテナンスを行う体制の整備について検討を進めています。

プレスリリース

八幡平市議会報告会「議員と語る会」を開催します

【発表の要旨】

八幡平市議会では、議会活動の状況を地域に出向いて市民に直接報告・説明するために「議員と語る会」を開催します。「語る会」は、市政に関する情報を市民と共有し、説明責任を果たす場として、平成25(2013)年度から行っているもので、今年で12年目となります。

「語る会」では、議会報告(9月定例会の報告)及び議会広報(ギカイのひろば)No.81の内容をベースに意見交換を実施。市民から広く意見や提言を聴取することで、議会の監視機能や政策提言活動の強化につなげます。

1 日程

月日	会場	備考(担当班)
11月15日(土) 10:00～	八幡平市役所 多目的ルーム	1班
11月15日(土) 14:00～	八幡平市役所 多目的ルーム	2班
	田山コミュニティセンター	1班
11月15日(土) 18:00～	八幡平市役所 多目的ルーム	2班

好きな時間を選んで
参加してください

2 班構成

1班	2班
代表者 羽沢 寿隆	代表者 工藤 多弘
高橋 光幸	井上 辰男
古川 津好	高橋 悦郎
立花 安文	工藤 直道
勝又 安正	渡辺 義光
関 治人	熊澤 博
齊藤 隆雄	北口 功
田村 正元	外山 一則
	山口 朋文

【担当】

議会事務局 議事係
主任 古川 忠彦
電話 0195-74-2111 (内線 1383)



プレスリリース

副業型地域活性化起業人との協定式を行います

行政DX化を推進する新たな試み

【発表の要旨】

本市は、11月から、レイ・フロンティア^(株)(本社：東京都)の代表取締役 田村^{けんし}建士氏を、DX戦略統括アーキテクト(副業型地域活性化起業人)として招聘するため、以下の日程で締結式を行います。

今回の締結による取り組みは、行政の持続可能性と地域のデジタル変革の加速が目的で、市はDX推進に向け新たな一歩を踏み出します。

本市は、田村氏の経験を生かし、本市の行政デジタル戦略を”共創”の視点で再構築していきます。

1 日時 11月4日(火) 午前11時40分～(定例記者会見終了後に行います)

2 場所 八幡平市役所 多目的ホール棟 多目的ルーム1

3 協定締結の相手方

田村 建士 氏

(レイ・フロンティア^(株)代表取締役社長 (CEO)。八幡平ふるさと大使。
八幡平市平館出身)

4 本市での役割

市のDX推進を「仕組みとして定着させる」ことを目的に、次の3つのミッションを担います。

① 行政DXの再設計

市全体のデジタル施策を見直し、EBPM[※](証拠に基づく政策形成)体制を構築。行政業務の効率化と市民サービス向上を目指します。

※ Evidence based policy making

② 職員のAI活用支援

AI活用勉強会を開催し、職員が自ら業務改善を進められるよう支援。AIスキル習得を促し、全職員に展開します。

③ 八幡平型DXモデル構築

他自治体のDX事例を学び、八幡平市独自のDXモデルを策定。医療・観光分野を含む行政のデジタル化を進め、地域全体のDXを推進します。

田村氏 プロフィール

東北学院大学土木工学科卒業。
構造設計、システム開発、ゲーム開発、データ分析など、20年以上にわたる広範な技術実務に従事。自社(レイ・フロンティア)では、AI・行動データ・位置情報技術を駆使したデジタルソリューションを開発・提供。「人の行動をデータで理解し、暮らしを設計する」という独自のアプローチで、民間企業や自治体のデジタル戦略推進にも力を注いでいます。

副業型地域活性化起業人とは

三大都市圏に所在する企業等に勤務する者が自治体と協定等に基づき、自治体に一定期間(6月から3年)自治体の取組む地域課題解決のため、専門的なノウハウや知見を活かしながら即戦力として業務に従事することで、地域活性化を図る取組です。

【担当】

企画総務部総務課 情報統計係

係長 佐々木 瞳

電話 0195-74-2111 (内線 1244)

財政措置

国の策定した「地域活性化起業人制度」推進要綱に取り組むことで、特別交付税措置を受けることができる制度です。